

横手市大雄字乗阿気下地内における
重油の流出事故の発生について（第 5 報）

横手市大雄字乗阿気下地内において排水路に重油が流出しているとの情報が横手市消防本部から国土交通省湯沢河川国道事務所へ入りました。
この情報を受け、雄物川水系水質汚濁対策協議会では、現地対応を行っております、
なお、湯沢河川国道事務所では、2月23日19時00分に災害対策支部（水質）「注意体制」を設置中です。

1. 事故概要

- 通報場所：横手市大雄字乗阿気下地内（別添位置図）
- 発生場所：睦合成工業（株）秋田工場（別添位置図）
- 通報時間：平成 27 年 2 月 23 日 17 時 4 分頃（消防からの通報時刻）
- 事 象：重油の漏洩 推定 150 ㍓
- 原 因：積雪の影響による送油配管の破損（発生元の油流出は停止）

2. 事故対応状況

- 2月23日 湯沢河川国道事務所では、現地確認、河川巡視を実施中。
また、排水路（油川）と雄物川合流点地点にオイルフェンスを設置中。
排水路（油川）と雄物川合流点地点にオイルフェンス設置（22時10分完了）
また、横手市消防本部にて排水路（油川）にオイルフェンスを設置済。
- 2月24日 油回収作業を継続実施するとともに、オイルフェンスについても継続設置。
- 2月25日 原因者が9時から回収作業を始め、14時までに県道及び敷地内の側溝の重油をバキュームにより除去、重油付着の雪と土の除去を完了。
- 2月26日 引き続き原因者による県道側溝及び敷地内の油の回収を実施。

3. 河川巡視結果

- 2月23日 通報を受け河川巡視を行った結果、排水路（油川）で薄い油膜が確認されました。
- 2月24日 排水路（油川）合流点から下流の雄物川本川では油膜は確認されていません。
7時から河川巡視を行った結果、排水路（油川）オイルフェンス設置箇所付近で少量の油膜が確認されました。
排水路（油川）合流点から下流の雄物川本川では油膜は確認されませんでした。
- 2月25日 排水路（油川）及び雄物川本川では油膜は確認されませんでした。
- 2月26日 排水路（油川）及び雄物川本川では油膜は確認されませんでした。
- 2月27日 排水路（油川）及び雄物川本川では油膜は確認されませんでした。

4. 今後の対応

- 2月28日（土）原因者が県道及び敷地内の側溝の洗浄処理を実施予定。
 - 河川管理者による定期的な河川巡視を行います。
- ※ 下線は、前回発表からの変更箇所

《 詳細がわかりましたら、改めて情報提供いたします。 》

<秋田県政記者会、横手記者会>

問 合 せ 先

国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所
秋田県湯沢市関口字上寺沢64-2
副所長（河川） 佐藤 徳男
河川管理課長 古関 修
Tel 0183-73-5340（河川管理課直通）

位置図

